

厚木連合 戸陵会だより

厚木連合戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連合戸陵会) ●発行責任者=杉田 泰繁 ●編集責任者=三橋 敬司

「同窓会の主な予定事業」
 ◆9月30日(土) 11時30分
 「第12回青春がながわ校歌祭」
 (厚木市文化会館大ホール)
 団結式・練習会/8月27日(日)
 13時、厚木高校中庭にて
 ◆11月12日(日) 13時
 さくら戸陵会主催「林家つる子落語会」(アミューあつぎ・ホール1112)
 ◆11月13日(月)
 「第3回チャリティゴルフコンペ」
 (本厚木カンツリークラブ)
 ◆11月18日(土)
 「第9回思い出の日に親しむ会」(同窓林・愛川繊維会館)



組織の活性化により支部活動の充実へ

厚木連合戸陵会会長 杉田 泰繁 (高14回)

厚木連合戸陵会はこの1年、同窓会本部と各支部との中継点として互いに連絡を取り合ってきました。

各支部の活動についてはその都度報告を受けておりますが、その中には玉川・森の里支部の「先端技術研究所見学」、南毛利支部の「医療講演会」、小鮎支部の「歴史講演会」と言った、各地域と連帯した活動を通して支部活動を活性化させようというものもありました。

又、連合戸陵会が主管となって学校支援に向けてのチャリティゴルフコンペも行っています。

今回半数以上の支部で支部長が交代されており、このことも組織の活性化につながってくるのではないかと思います。

厚木高校同窓会の最も中核たる厚木連合戸陵会が、これからもしっかりと団結をして、厚木高校を支えて行きたいと思っております。

前世代から次世代へより確かな継承を

厚木高校同窓会会長 曾根 秀敏 (高14回)

先月の本部総会において2期目の同窓会会長を拝命いたしました。力不足の所はありますが、役員を増加を新たにお願いし、体制の充実を図りましたので、新役員の方々と共に、もう1期頑張りたいと思っております。

同窓会の大きな目的が母校への支援であり、100周年の際に卒業生の皆様から頂いた基金を使って、数々の支援を行ってまいりました。しかし、その基金の減少及び同窓会への会費納入の伸び悩みと言う問題が出てまいりました。

この問題への対策として、財政基盤検討委員会を設置し、各支部から代表の方を出して頂いて検討をお願いいたしました。その検討結果は、先日の本部総会の席上でご披露させて頂きましたが、これからの同窓会活動のあり方への羅針盤的なものを頂いたと思っています。

「前の世代に得たものを次世代へと継承して行く」と言うサイクルを確立すれば、同窓会の発展は間違いないものと思っています。

勉強と部活、両面で頑張っている厚高生

厚木高校校長 中垣 匡

厚木高校第30代の校長を拝命した、中垣匡です。

現在、厚木市内から厚木高校に通われているのは全体の24%ですが、昭和63年で30%、一番古い記録の昭和25年で40%弱となっていました。数字的には下がっているものの、全県1学区という中でこの数字は、厚木高校は地元で愛されている学校なんだと実感しております。

進学の面では厚木高校の生徒はよく頑張っておりまして、入学時点では県立高校の中では横浜翠嵐、湘南、柏陽、川和に次ぐ第5位となっています。ただ進学時には、川和を抜いているようです。

部活動では、ダンスドリル部の全米大会出場の際には、同窓会の皆様からご支援頂き、ありがたうございました。更に軽音楽部も色々なところで賞を取っています。部活動以外の勉強の面でも、色々なコンクールや発表会で賞を取って海外で発表を行う生徒が増えてきたことも最近の特徴かなと思っています。

今「グローバルな人材を育てる」「マルチな人間を育てる」と言うことで、生徒は色々なことに一所懸命取り組んでいます。このようなことが出来る厚木高校生をこれからも沢山育てていきたいと思っています。



飯山の元湯旅館で開かれた平成29年度通常総会



アトラクションとして谷脇瑛子さん(高54回)のエレクトーン演奏

平成29年度通常総会を開催 役員改選など5議案を可決

平成29年度通常総会は、7月16日(日)飯山元湯旅館に於て、曾根秀敏厚高同窓会会長(高14回)、本座席間戸陵会長(高10回)、

高橋力伊勢原戸陵会長(高18回)等、多数のご来賓の方々のご御臨席を頂きました。総会開会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、足立原強副会長(高16回)の開会の辞、杉田泰繁会長の挨拶がありました。

その後、三平明彦副会長(高14回)が議長に選任されて議事審議に入り次の5議案について審議が行われました。1号議案「28年度活動報告(森久保幹事長より)」

2号議案「28年度収支決算報告及び会計監査報告(藤野・足立原会計、志村会計監査より)」
3号議案「29年度活動計画(案)(平野事務局長より)」
4号議案「29年度収支予算(案)(藤野会計より)」
5号議案「改選に伴う役員選出(森久保幹事長より)」
このうち、1号議案及び2号議案については、満場一致で原案通り可決されました。又、3号議案、5号議案についても、満場一致で原案通り可決・承認されました。

その後、三平明彦副会長(高14回)が議長に選任されて議事審議が行われました。1号議案「28年度活動報告(森久保幹事長より)」
2号議案「28年度収支決算報告及び会計監査報告(藤野・足立原会計、志村会計監査より)」
3号議案「29年度活動計画(案)(平野事務局長より)」
4号議案「29年度収支予算(案)(藤野会計より)」
5号議案「改選に伴う役員選出(森久保幹事長より)」
このうち、1号議案及び2号議案については、満場一致で原案通り可決されました。又、3号議案、5号議案についても、満場一致で原案通り可決・承認されました。

おかげさまで優良法人受賞
 県、市、優良施工店賞受賞
 おかげさまで税務署長の表敬訪問を賜ることができました

住まいの快適

リホーム 増減築

株式会社 小林リビング

代表取締役社長 小林知弥 (高8回)

厚木市山際570 (R129山際交差点隣) ☎046-245-3261

望みが沸き、趣きに親しむ、
 かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

元湯旅館

代表取締役 石川範義 (高10回)

神奈川県厚木市飯山4916
 TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975
 ●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL http://www.motoyu.co.jp/

昭和35年創業老舗の味

厚木名物「肉の田口」とん漬は、産地直送の上質な肉たけを厳選し、当店の秘製味噌に一炊いちまい職人の手で丹精込めて漬けた自家製のたけです。

たきな木があるお肉屋さん

株式会社 肉の田口

代表取締役社長 田口 幸一 (高29回)
 専務取締役 田口 孝男 (高30回)

厚木市水引1-15-12 (市立病院バス停そば)
 年中無休/営業時間 AM9:30~PM7:00

☎0120-298639 FAX 046-221-5586
 URL http://www.nikunotaguchi.com

炭火焼 焼肉の田口

■山店 厚木市飯山1093-4 ☎046-242-1529
 ■恩名店 厚木市恩名2-6-5 ☎046-244-5629
 ■下今泉店 海老名市下今泉3-1-3 ☎046-206-4970

シリーズ

地域で活躍する同窓生

相川戸陵会

四季匂い立つ生命の輝き

高徳寺住職 花田正則氏(高17回)に聞く

厚木市酒井の高徳寺は、江戸時代の初期、慶長年間に開山。7月上旬に35代目住職の花田さんを訪問してお話を伺った。

「曹洞宗を開かれた道元禪師は、1200年に京都にお生まれになり、1247年鎌倉幕府第5代執権北条時頼の求めに応じて鎌倉に滞在された。」

昭和43年大雄山にて修行をされた花田さんは、開祖道元禪師が慈しんだ日本の四季を愛でながら、日々お勤めに励んでおられる。高徳寺境内に育つ四季折



高徳寺住職として、四季折々の自然とのふれあいを大切にしている花田氏

も残ると言われる花田さんに、若い頃の思い出を伺った。

「1年では美術部所属。3年で水泳部に入り、戸室のプールで泳いだ。校内マラソンでも割と足は速かった。高校時代の友人とのつきあいは、卒業後も続いて、大学1・2年時、その友人と自転車で関西を旅行。大学

3年時には、自転車で北海道へ。札幌で自転車が故障し、修理してもらえぬ所を探し歩いたのも懐かしい思い出という。

大学を卒業して市役所へ。秘書課には13年在任し、市内外に多くの人脈ができた。現在は住職のお勤めに専念。世の中は刻々と変化するが、足下を見つめ、一日一日を大事にして生きることをの大切さをお話ししている。

若い頃から美と体力を磨いた花田さんの姿に、洗練された生命の輝きが放たれていた。

広報委員・毛利達夫(高20回)

玉川・森の里戸陵会

旧制厚木中学校時代の思い出

小野田謙次氏(中40回)に聞く



小野田 謙次氏

されたことである。当時の厚木中学校3年生227名全員が厚木からでは通えないだろうからと工場の寮へ入れられた。ところが、

睦合戸陵会

俳句の啓発活動を通して

厚木俳句協会会長

川島 浩平(高15回)



川島 浩平氏

私は平成28年4月に協会会長を引き継ぎました。当協会は、厚木市内在住の俳句愛好者の集まりで、俳句の啓発活動と厚木市文化活動への参加を主に、昭和26年4月に足立康治(俳号、八洲路)氏を会長としてスタートした歴史ある協会です。以後歴代会長のもと市の文化祭における俳句大会、新緑俳句大会、またカルチャー教室等における俳句の啓発活動等を行って来ま

ろが、後で分かったことだが厚木高等女学校(現、厚木東高校)の生徒も動員で同じ工場に来ていた。しかも、女子はどういうわけか通いであった。

果敢な中学校時代を、戦時中に過ごし、旧制中学校に進学するも勉強より軍需工場や農家への動員や軍事教練に明け暮れた日々であったという。

小野田さんの話からは、次から次へと当時の様子が生々しく伝わってくる(中40回卒の同級生で体験談として「戸室の丘辺旭日さして」という本にまとめられている)。

今の小野田さんは、本を小脇に抱え図書館へ毎週のように通っている。そこで読書三昧の様子をお聞きすると、「多くの人は、小さな鉄玉をはじくパチンコに、またある人は小さなゴム球をはじくゴルフに興じているひが多いが、私は、どちらかという目で活字をはじくことが好きで、いわゆる雑読を楽

しんでいきます」という言葉が返ってきた。

読書にのめり込んでいった原因のひとつに中学時代の国語の高木先生の影響が大きいとのことでした。国語の教科書に戦時中ではあったが、森鷗外の「即興詩人」が載っていて、無性に読みたくなったことを覚えているという。それがきっかけで、今まで数え切れないほどの本を読んできたそうで、いくつかを列挙すると、外国文学では「戦争と平和」「復活」「カラマゾフの兄弟」「赤と黒」、日本文学では「夜明け前」「野火」「人間の条件」「帰郷」「八甲田山の彷徨」など。これらの本は、ぜひ若い人たちにも読んで頂きたい本である、とのことでした。

インタビュを終えて、小野田さんの生き生きとした顔の表情がとつてもすてきで、いつまでもお元気でいていただきたいものです。

広報委員・三橋敬司(高18回)

小野田さんの話によると旧制厚木中学校には、日本が太平洋戦争に突入した翌年の昭和17年4月に入学した。

入って早々の入学式で驚かされた。入学式で講話師の神田伯山の講話があったのである。詳細は覚えていないが、戦時中のことで若者を鼓舞する意味であったのかもしれない。

当時の校長は永野毅先生で、よく郷土の歴史についての授業をされた。特に、「荻野山中陣屋焼き討ち事件」の話はよく覚えていた。

当時、通学距離が6km以内は徒歩、6〜8kmは自転車許可、8km以上はバスや電車が許されていたので、私は伊勢原から電車通学をした。

中学時代に特に印象が強かったのは、軍需工場の日本工業工業株式会社川崎工場に学徒動員

この俳句コーナーは、投句内容から判断すると初心者の方や少し俳句をやった来られた方々が大半な様です。したがって基本がまだ良く分かっていない方も多く、季語がなかったり、季語重なりがあったり、単なる情景の説明だけになっていたり各人各様です。それを句評するに当たって、季語がないものは、句の内容をみてそれに見合う季

こういつた中で、平成24年1月にタウンニュースさんから「俳句でひと息」というコーナーを設けるので句評を担当して欲しいとの要請があり、お引き受けすることに現在に至っています。

この俳句コーナーは、投句内容から判断すると初心者の方や少し俳句をやった来られた方々が大半な様です。したがって基本がまだ良く分かっていない方も多く、季語がなかったり、季語重なりがあったり、単なる情景の説明だけになっていたり各人各様です。それを句評するに当たって、季語がないものは、句の内容をみてそれに見合う季

【略歴】 埼玉県川口市生まれ。昭和29年、厚木市に転居。厚木高校、上智大学大学院卒業。昭和45年(株)帝人入社。昭和51年、父親川島芳徳(俳人)に師事。俳人協会会員。

タウンニュースの俳句の選者の他、地元薬師保存会副会長、睦合南公民館文化振興会会長等。

内科・循環器内科
心療内科

厚木ハートケア
クリニック

http://www.atsugi-heartcare.com

院長 循環器専門医
伴野富佐子(旧姓・難波)
(高37回)

〒243-0203
厚木市下荻野1476-1ソルローマ本厚木1F
TEL 046-243-5533 FAX 046-243-5503

高橋歯科医院

院長 高橋 庸(高26回)

〒243-0201 厚木市上荻野250-3
(みはる野入口 信号そば)

TEL 046-241-8851

“本物志向の金物店”

建築金物・家族金物
工具・刃物

(有)足立原商店

代表 足立原 強(高16回)

厚木市水引1丁目1番2号

TEL 046-221-1059
FAX 046-221-1259

小鮎戸陵会

走り続けた半世紀、 いま未来を見つめて

会長 伊藤 桂 (高16回)

昭和36年、地元の厚木高校に入学後は、プラスチック部が陸上部で迷っていました。そのような時陸上部の春合宿に誘いがあり興味本位で参加をしました。このため入学式は部室(陸上部の春合宿に参加のため)から出席をしました。

合宿は、当時の自分には厳しいものでした。結果的に陸上部に入ることになりました。当時の陸上部は、春・夏・秋(駅伝対応で長距離のみ)の3回合宿があり、1年生はやつと合宿所に入る状態でした。高16回生は、昭和20年(終戦)生まれが中心で1学年254名と最も少ない学年でした。男子校から男女共学になったばかりであり、14名女生徒がいました。

そして、小島菊代先生の化学に興味を持ち工業化学に進みま

実績最優先だったことが幸いし短期間に支店長・販売長等になり、約20年間各地(宇都宮・金沢・京都・兵庫・滋賀・所沢等)を単身赴任しました。単身赴任も結構楽しいものです。

収入・地位等得るものも多かったが、反面、失うもの(地域活動・家族生活等)も多かったと感じています。

特に娘から「お父さんは変わってしまった。いままでは何でも快く相談に乗ってくれたのに今は一方的に押し付ける」と言われて絶句してしまつたことがあります。常に戦ってきたので、性格まで変わったのかと背筋が

寒くなる思いでした。

定年後は、十分できなかった家族との生活、地域活動に力を入れていきます。「あやめ会」を中心に厚木市斎場調整池の管理やあやめの管理、あやめ祭りの開催等を行っています。

平成14年に突然候補地になり平成24年4月に竣工した厚木市斎場には思い入れが強く、「あやめ」「蓮」「河津桜」「彼岸花」等をあやめ会や地元住民の仲間と植込み管理をしています。

将来は日本一の厚木市斎場を目指して仲間と共に努力をしています。近くにおいでの際は、是非見て行ってください。

み味わっているのも現実です。私たちに今出来ることは何かそんなことを考えながら、これからの人生を歩んでいきたいと思ひます。

「古希」、昔は70歳を迎える人は稀であった時代、そして今は当たり前のようにこの世にいる自分、もっと大切に生きなければいけないと自分に言い聞かせながら...

厚木高校という伝統ある高校の卒業生として、また、依知に生まれ、依知の地域に育てられてきた自分、これらが本當の

恩返し。次の節目である「喜寿」を健康で迎えられるよう、そして子どもたちの笑顔を中心の支えとして、これからも前を向いて生きていきたいと思ひます。

依知戸陵会の前会長として、先輩、後輩を含めた多くの同窓生に親しい仲間としてお付き合いをいただき、大変お世話になったことは、高校在学中は全く存在感が薄かったであろう自分を振り返ると、まさに「出合いは晴れのち晴れ」、本当にありがとうございました。

子どもたちの笑顔に支えられて

前会長 都高 泉 (高17回)

人生70年、古希という人生の大きな節目を迎え、あつと言つて、通り過ぎた自分を振り返つて、「あー、永く生きてきたものだ」とつくづく感じ、「出合いは晴れのち晴れ」、私の出会つた多くの人々に生かされて本當に充実した人生を過ごすことができましたと、改めて感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。

今の自分は、新たな取り組みとして、地域の小学生の登下校時に、子どもたちの安心・安全を確保するために「子ども見守り隊」を組織し、多くの仲間たちと毎朝、毎夕方通学路に立ち、一緒に学校まで登校し、そして下校時は自宅近くまでの見守り活動に日々大半を費やしております。



古希を迎え、次代の子どもたちの安全を見守り続ける毎日

依知戸陵会

思い出多き荻野川の今昔

荻野戸陵会 花上 肇 (高11回)

ガキ数人で山の木を切り、川をせき止め、袋に砂利をつめて泳げる場所を作った。飛び込んだり泳いだり、一日中遊んでいたものである。

そこに大きな漆の木があつて邪魔なので伐採してしまつた。そして「事件」が起きた。「洗い場」は荻野川のいたる場所にある、その漆の樹液が下流に流れ、そこで洗いをしていた多数の人達が漆にかぶれ、大騒ぎになったのである。特に主婦が多かつた様だ。私達も1週間くらい顔はふくれ、全身がかゆくて、特に手の指が触れると我慢出来ず、一本一本包帯を巻き、医者通ひをした。

荻野川のなつかしくも苦しい思い出である。



花上 肇氏

これから、地域を、厚木を、そして日本を背負つて立つ子どもたちの健やかな成長を楽しみにながら、この子どもたちが世の為人の為に役に立つてくれる人間に育つてほしいと願う毎日であります。

厚木高校を卒業して、早、半

我が家から西へ100メートル程行くと、田植えが終わつた緑の田んぼが広がり、その先が荻野川である。無道橋を渡ると正面に「あつきこども森公園東入口」がある。

公園では野鳥が鳴き、サルの子がスベリ台で遊んでいる。川

ではコイが泳ぎ、カモが餌をあさっている。

子供の頃を思い浮かべながら川を歩くと、当時の川は、竹や雑木が生い茂り、水は澄み、アユ、ウグイ、ウナギ、ヤマメもいた。橋のたもとには「洗い場」と称して野菜等あらゆる物をそこで洗っていた。夜になって、ランプで川面を照らすとそこにアユがいっぱい集まって来て網ですくい上げることができた。

夏休みにもなると、近くの悪い

土地・建物・賃貸・売買・分譲
SUGITA
不動産のことなら何でもご相談ください

株式会社 杉田商事

代表取締役 杉田 泰繁 (高14回)
主宰「SUGITA CUPオレンジ大会」(少年野球大会)

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町2-1-17
TEL 046-228-4581 FAX 046-228-6078

E-mail sugital@rose.ocn.ne.jp
URL http://www.sugitasyoji.co.jp

イトウスポーツ

代表取締役 伊藤 修治 (高17回)

TEL.046(224)9397・(223)3458
FAX.046(221)0540 旧イトーヨーカドー西隣

創業200年を迎えます
1818年創業 酒は文化なり
時代を超え、日本の酒文化を未来に伝えてゆきます

酒 盛升
地ビール さがみビール

全国金賞受賞蔵

黄金井酒造株式会社
代表取締役会長 黄金井 一太 (中38回)
専務取締役 黄金井 陽介 (高50回)
神奈川県厚木市七沢769
TEL 046-248-0124 (代) / FAX 046-247-8089
URL http://www.koganeishuzou.com



地元のボランティア共に蓮池等の手入れに余念がない

同窓会本部情報

平成29年度通常総会開催

本部役員選出、財政基盤検討委報告など

平成29年6月24日、レンブラントホテル2F「暁紅の間」において平成29年度通常総会が開催されました。

総会開会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、足立原泰副会長(高13回)の開会の辞、曾根秀敏同窓会長(高14回)の挨拶、来賓の後藤祐一衆議院議員(高39回)の挨拶、及び中垣匡学校長の挨拶がありました。その後、議長団として三平明彦氏(高14回)が選任されて議事審議に入り、各種議案審議が満場一致で原案通り可決されました。



新役員人事案、財政基盤強化策が本総会の重点案件。出席会員の熱の入った審議が行われた



矢口有乃氏(高36回)

年度通常総会は終了しました。通常総会終了後の講演には、東京女子医科大学教授の矢口有乃氏(高36回)が登場し、「救急・集中治療における生命倫理」と題した講演を行いました。

29年度事業計画より

講演終了後、会場を同ホテル3F「相模(西)」の間に移し、杉田泰繁厚木連合戸陵会会長(高14回)の乾杯の音頭が始まった懇親会では、和気藹々の雰囲気の中、親睦を深めました。最後は難波角三応援団OB会

厚木高校同窓会役員名簿

- 平成29年度/平成31年度
会長・曾根秀敏(高14)
副会長・落合重治(高13)
副会長・伊藤修治(高17)
副会長・小島信男(高17)
副会長・高橋浩(高17)
副会長・青木治美(高18)
副会長・大井理恵子(高18)
副会長・井寛修己(高19)
副会長・松本茂(高20)
副会長・見上正信(高23)
副会長・米山和久(高23)
副会長・石塚修(高28)
監事・大貫政一(高17)
監事・伊東一男(高20)

厚木連合戸陵会役員会

- 平成29~31年度
会長 杉田泰繁(高14)
副会長 足立原強(高16)
会長 大塚定男(高20)
副会長 平野亮二(高27)
会長 毛利昇(高16)
副会長 伊藤桂(高16)
副会長 神崎愷(高13)
副会長 中村伸行(高13)
副会長 小菅和夫(高19)
幹事 長 森久保純生(高16)
事務局 長 足立一彦(高17)
計 二見政宏(高16)
計 藤野心(高34)
監査 三平明彦(高14)
監査 下川信好(高14)
広報委員長 三橋敬司(高18)
ゴルフ委員長 中山和男(高26)
顧問 石川範義(高10)
顧問 難波浩(高11)
顧問 高橋増次(高11)

長(高16回)の指揮による校歌斉唱が行われ、大井理恵子副会長(高18回)の挨拶で散会となりました。

母校の近況報告

『厚高新聞』第256号(29年7月21日付)より
海外の人との交流機会を
◆さくらサイエンスプラン
5月23日に厚高で日本とアジア地域の青少年の交流を図るさくらサイエンスプランが行われた。インド、台湾、ミャンマーから各30名、計90名の高校生がやってきて本校の生徒と共に授業を受けた。

支部会ニュース
『さくら戸陵会による落語会』
日時/11月12日(日) 13時
会場/アミューあつぎ・ホール112(9F)
出演/林家つる子
本戸銭/1500円
司会・対談/沼澤英夫氏(高18回)
申込先/さくら戸陵会会長・大井まで FAXにて先着100名。042-72-2256

母校の近況報告

◆エレノア高校来校
6月10日には、厚高生と姉妹校エレノア・ルースベルト高校から来校した生徒4人と引率の教員を含み、Atsugi Science Centerが実施された。他にも県立平塚中等教育学校や県立横須賀高校などの生徒や教員も参加した。はじめに行ったボクスター発表では、昨年のヴェリタス発表者やSS研が英語で発表した。次に行った口頭発表では、各校の代表者6組が各自の研究結果を同様に英語で披露。質疑応答の際には盛んに質問が飛び交い、英語での交流が積極的に行われた様子であった。

この企画は国からの依頼で行われたもので、先生方は「生徒に様々な国の人と触れ合う機会を与えたい」と思っただけで依頼を受けた」とのことだった。英語を通しての会話だったため、うまく話すことのできなかつた生徒もいたようで、このプランの後は「もっと英語を話せるようになりたい」と言う生徒が多く見られるようになったそうだ。今回の感想を聞いたところ、「やる気を持って勉強してくれればよかった」と話した。また中島先生は「機会があれば、来年度も他学年を起用して行いたい」と意欲を見せた。

広報委員会

- 平成29~31年度
委員長 三橋敬司(高18)
副委員長 池田清(高19)
副委員長 毛利澄夫(高20)
委員 小島聡(高33)
委員 大塚重雄(高28)
委員 松本渥子(高14)
委員 花上統正(高22)
委員 白井志信(高30)

ゴルフ委員会

- 平成29~31年度
委員長 中山和男(高26)
副委員長 大貫亨(高17)
副委員長 上屋忠之(高22)
計 黄金井哲也(高18)
委員 藤川孝幸(高26)
委員 大塚定男(高20)
委員 山口茂幸(高28)
委員 頼住久男(高22)
委員 小堀恒夫(高22)

本は豊かな明日への心の広場
教科書 取次
(有)内田屋書房
046-258-6722
代表取締役 内田 喜康(高13回)
■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F
■東京農大厚木キャンパス店

つるくぼ
耳鼻咽喉科
日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪一行(高26回)
診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

葉山法律事務所弁護士法人
代表弁護士 葉山 岳夫(高7回)
第二東京弁護士会 所属
〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-10
アイディーコート本厚木シティーゲート201号
電話 046(297)3415 FAX 046(297)3416
〒107-0062 東京都港区南青山5-4-6
パレロワイヤル南青山503号
電話 03(3797)3690 FAX 03(3797)3950
メールアドレス hayama_law@king.odn.ne.jp